柔道整復臨床データ解析学演習

専門　　選択　　2単位

坪島　功幸

1. 授業の概要（ねらい）

「柔道整復学臨床データ解析学特論」の学習内容を基礎に、筋電図、三次元動作解析装置、トレッドミル、エルゴメータなど各種運動負荷装置を用いて実際の様々な条件下で実験データを収集します。そのデータを基にデータの質・量・目的を考慮してデータ解析作業の演習を行います。結果はグラフ等を用いてプレゼンテーションしをして、簡潔、的確な結果の表現方をトレーニングします。この授業ではDP1、DP2に関する知識、技能を習得します。

2. 授業の到達目標

前期履修した「柔道整復学臨床データ解析学特論」の知識を基に、実際に臨床実験を通じてデータ収集・解析を行い、研究の一連の流れや解析法を習得し、研究法の構成が確立できるようになることを目的とします。

3. 成績評価の方法および基準

レポートによる授業内容の理解度・達成度を評価します。レポート課題、提出要綱は授業時に担当教員より指定されます。レポートは、内容、評価に関して後日レクチャーをしてフィードバックします。

4. 教科書・参考文献

教科書
必要とされる資料は授業時に適宜配布します。

5. 準備学修の内容

この授業は各専門分野の教員によるオムニバス方式で行います。

6. その他履修上の注意事項

7. 授業内容

【第1回】　血流計を用いた研究法について
予習：事前配布資料により近赤外分光法について事前学習します。
復習：次回測定する実験の類似論文の検索をします。

【第2回】　血流計実測とデータ収集
予習：事前配布資料による実測法の手順を確認します。
復習：収集したデータを整理し解析します。

【第3回】　血流計データ解析
予習：解析したデータを説明できるようにします。
復習：授業で指摘された点をもとに解析結果を考察します。

【第4回】　血流計データ解析と考察
予習：結果と考察をパワーポイントを用いてプレゼンします。
復習：これまでの内容をまとめてレポートします。

【第5回】　超音波エコーを用いた研究法について
予習：事前配布資料により近赤外分光法について学習します。
復習：次回測定する実験の類似論文の検索をします。

【第6回】　超音波エコーを用いた実測と画像抽出
予習：事前配布資料による実測法の手順を確認します。
復習：収集したデータを整理し解析します。

【第7回】　超音波エコーデータ解析
予習：解析したデータを説明できるようにします。
復習：授業で指摘された点をもとに解析結果を考察します。

【第8回】　超音波エコーデータの解析と考察
予習：結果と考察をパワーポイントを用いてプレゼンします。
復習：これまでの内容をまとめてレポートします。

【第9回】　バイオテックスを用いた研究法について
予習：事前配布資料によりバイオデックスついて事前学習します。
復習：次回測定する実験の類似論文の検索をします。

【第10回】　バイオテックスのデータの意義
予習：事前配布資料によりデータの意義について事前学習します。
復習：授業内容に従ってデータの意義を検討し研究法を考案します。

【第11回】　バイオテックスの測定法
予習：事前配布資料により測定法について事前学習します。
復習：授業内容に従って研究法を考案します。

【第12回】　バイオテックスの実測、データ収集
予習：考案した研究の実測法の手順を確認します。
復習：収集したデータを整理し解析します。

【第13回】　バイオテックスのデータ解析、考察
予習：結果と考察をパワーポイントを用いてプレゼンします。
復習：これまでの内容をまとめてレポートします。

【第14回】　各種運動負荷装置を用いたデータ収集
予習：事前配布資料により実験手順を確認し実測に備えます。
復習：データを整理し解析します。

【第15回】　各種運動負荷装置を用いたデータ解析、考察
予習：結果と考察をパワーポイントを用いてプレゼンします。
復習：これまでの内容をまとめてレポートします。